

## 第13回 スマート保安プロモーション委員会 議事要旨

1. 日時：令和5年6月19日(月) 14:00～15:30
2. 場所：NITE 本所 + オンライン会議(Teams)
3. 出席者：  
(常任委員)中垣委員長、飯田委員、伊藤委員、小野田委員、高野委員、山出委員  
(オブザーバー) 経済産業省 立松様、他  
(説明人) A社 1名  
(事務局)独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)  
国際評価技術本部 菊島本部長、篠崎次長、田中電力安全センター長、他

### 4. 議題

議題: 第9号案件(基礎要素技術)の妥当性評価について

### 5. 配付資料

- 資料1: スマート保安プロモーション委員会 委員名簿
- 資料2: 第9号案件(基礎要素技術)概要資料
- 資料3: 第9号案件(基礎要素技術)詳細資料
- 資料4: 第9号案件(基礎要素技術)決議案
- 参考資料1: 第13回 スマート保安プロモーション委員会 出席者名簿

### 6. 議事概要

議題: 第9号案件(基礎要素技術)の妥当性評価について

事務局及び説明人が資料2及び資料3に基づいて説明を行い、質疑応答を行った。

<説明人による今回の案件(基礎要素技術)の説明概要>

- 提案するソフトは、オフィスや自宅など、離れた場所においても、まるでその場にいるかのように「あれ、これ、それ」を伝えられるリモートツール。
- 電話と同じようにボタンひとつで相手に繋がり、ポインタ機能などで現場の状況が一目で把握できる。
- 双方向のビジュアルコミュニケーション、現場でも使いやすいUI・UXの設計、写真や動画を活用したDB、が特徴である。
- 通話中に撮影した写真や動画はすべてクラウドに保存され、端末には残らない。
- 電話回線ではなくインターネット回線(WebRTC)を利用したリアルタイム通話が可能。
- ポインタ、画面共有、1対複数人通話、発着信、音声テキスト化、録画、遠隔撮影、お絵描き機能がある。
- ISO/IEC 27001:2013の認証を取得、Microsoft Azureを使用しており、セキュリティは担保し

ている。

- 電気保安の分野では、現場技術の継承の問題への取組み(育成・OJT・安全確認)、選任又は統括主任技術者への報告及び情報共有等で活用できる。
- 費用は基本料金、サポート費用、初回導入費用が必要。
- 今後の展開として、外部カメラ連携、オフラインモードの開発、取得した動画を活用したナレッジマネジメント機能の研究・開発を予定している。

<主な質疑応答>

- 保守メンテ以外の用途はあまり考えてないのか。  
→施工管理、現地調査や見積もり等にご利用いただいている。
- 設備によっては経験があるかどうかによって大きく違いが出てくるのではと思うが、現場に行く人に求められるものはあるか。  
→現場に全くの素人が行くケースはあまりなく、ある程度技術や知識はあるが経験が無い方と遠隔からベテラン方が参加する組合せが一番多いと思っている。
- 端末の種類によって色の出方が違ったり、伝わりにくくなることはあるか。  
→Android や iOS のかなり古いものになると、スペック的に処理が十分でなく、遅延したりするため、ある程度最低限推奨される OS のバージョンは明記した上でお客様にご利用いただくようにしている。
- 遠隔で一緒にチェックリストを見ながらチェックをして、その場で書類を完成させていくような機能はあるか。  
→一般的な画面共有で代用可能。
- 安価で導入容易というのはどのように評価したのか。  
→スマートグラスや工業用の遠隔支援システムは、セットアップや設定が非常に大変であるのに対し、本製品はすぐに通信を開始できる。
- もともとは建設関係の業種で使っていたとのことだが、電気保安に特化したものになっているのか。  
→本ソフトは、土台となるコミュニケーションプラットフォームである。
- 騒音環境下での文字起しはできるか。  
→ノイズキャンセル機能は付いているが、それでも難しい場合は、テキストを打って伝えることができる。
- 現場の計器の値をこのソフトで取得することはできるか。  
→改良すれば可能である。

説明人が退席し、事務局が資料 4 に基づいて決議案を説明した。委員による決議を行い、常任委員全員一致で承認された。

以上